

## 内視鏡機器更新のお知らせ

これまで、予防医療センタードックで使用しております内視鏡機器の更新を順次おこなってきましたが、この2021年3月に更新が完了し、全ての検査が最新型の「細径」内視鏡（経口挿入）にて可能となりました。

当センターで導入した最新の高画質細径内視鏡の直径は5-6mmであり、通常径の直径約9mmよりかなり細いものとなっています。また細径内視鏡の課題であった画質に関しても、高画質化が図られたことにより、より質の高い検査が可能となりました。

最新型細径内視鏡機器による最大のメリットは、内視鏡の挿入部分が細く柔らかいため、検査時の反射などの苦痛軽減が期待されることです。従いまして、鎮静剤を使用せずとも、より多くの皆様に負担の少ない検査の提供が期待できるとともに、鎮静剤使用によるリスクも回避できる利点があると考えます。

なお当センターでは「経口」挿入にて行いますので、咽頭刺激が強く不安のある方には、従来通り「鎮静剤併用での検査も可能」ですのでお申し出ください。（鎮静剤使用は70歳以上の受診者にはお勧めしておりません）

※受診者様の病歴・過去の検査歴その他から、検査前に相談の上、通常径の最新型内視鏡を使用させていただくことがございますので、あらかじめご了承ください。